

【第1部】情報交換会 演題応募要領

1 概要

救急業務におけるメディカルコントロール体制の更なる充実強化を図ることを目的に、令和8年1月23日（金）（14～17時予定）に令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）（於：熊本城ホール（熊本市））を開催いたします。

本連絡会の第1部として、「全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会」を開催し、各メディカルコントロール協議会の課題及びその解決策、先進的な取組等を募集し、演題発表することで、情報共有を行い、新たな着眼点の発見や検討内容の充実に繋げることを目的とします。

ついては、第1部情報交換会について、メディカルコントロールの中核となる業務（プロトコル、オンラインMC、事後検証、教育等）から、今回は、「事後検証」をテーマとして選定し、次のとおり演題を募集いたします。

2 公募について

（1）対象

都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会、もしくは、メディカルコントロール協議会でメディカルコントロール体制の構築に携わる消防機関、医療機関等の団体
（1演題につき1名での発表）

（2）内容

ア テーマ

「事後検証」

イ 題材（テーマの詳細）

下記題材①～③を参考に、事後検証における課題やその解決策、先進的な取組等を演題として応募してください。

題材①～③の複数の題材にまたがった応募も可能とします。

<題材①> **効果的かつ効率的な事後検証を目的とした取組みについて**

救急出動・搬送件数の増加により、救急隊・医師が共に多忙となる中、効率化を図りつつ最大限の効果を生む事後検証方法の取組みを共有する。

（例）

類似事案を包括化した事後検証、事後検証におけるDXの活用、対象症例の見直し・選定方法、検証着眼点や要領・事後検証に係る研修またはマニュアル化など

<題材②> **事後検証結果のフィードバックについて**

事後検証結果の効果を最大限に高めるための救急隊・指示医師へのフィードバック方法や、地域MC内における救急隊や医師への周知における課題などを共有する。

（例）

研修や訓練への反映、事例研究会の実施、ポータルサイトの活用、ヒヤリ・ハットやアクシデント事例または珍しい事例を含めた重要事例集のリーフレット作成など

<題材③> **事後検証を踏まえた各種基準や運用等の見直し例について**

事後検証結果や地域の実情または時代の変化を踏まえた各種基準等の見直しの取組例、契機、課題やその解決策など、他の地域におけるメディカルコントロールにおいて参考となる見直しプロセスを共有する。

(例)

各本部の救急業務に関する規程、各種プロトコル、傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の見直し例やそのプロセスなど

(3) 応募方法

以下の資料を添えて、応募先のメールアドレスまで送付してください。

ア 応募用紙（別紙）【必須】

イ 取組内容がわかる補足資料（例：取組にかかるマニュアル、リーフレット等）【任意】

応募先：kyukyusuishin@soumu.go.jp

なお、資料ファイルの容量によってはメールが受信できないおそれがあるため、送付時は必ず問合せ先まで架電連絡を併せて願います。

また、受信後は消防庁から2営業日以内に受信の返信をいたしますので、返信がない場合は、受信できていないことがありますので、その際は、電話での問合せをお願いします。

応募期限 **令和7年9月1日（月）正午まで（必着）**

3 演題選定方法

(1) 全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会において、応募演題の中から選定いたします。

(2) 応募演題の採択結果については、採否にかかわらず、11月中を目途に、応募者あてに通知いたします。

4 その他

(1) 1 演題の発表時間は7分以内、質疑応答は4分以内を予定しています。

(2) 発表される方の往復交通費等については事務局において負担します。

(3) 応募用紙（別紙）に記載いただいた抄録及び発表に使用される資料は、消防庁及び厚生労働省のホームページに公表し、また、抄録については、全国メディカルコントロール協議会連絡会冊子に掲載することを予定しています。あらかじめ御了承の上、応募をお願いします。

(4) 発表は現地会場のみとなります。また、Web 配信やオンデマンド配信はありません。

【問合せ・応募先】

全国メディカルコントロール協議会連絡会事務局

消防庁救急企画室 寺村、長谷、伊藤、山名

電話：03-5253-7529（直通）

E-mail：kyukyusuishin@soumu.go.jp